

2 進行中の事業

⑧青葉山公園整備 ～仙臺緑彩館オープン～



「もりの市民広場」イメージ
(建設局資料より)

- ・藩政時代からの歴史的・文化的資源や優れた自然景観を生かしながら、市民や仙台を訪れた人が親しむことのできる「杜の都のシンボル」となる公園を目指して整備
- ・国史跡指定地区、追廻地区、国際センター地区で構成
- ・エリアの玄関口となる「仙臺緑彩館」が令和5年4月26日開館予定。多くの方が憩い、集うことができる施設となるよう、七夕飾りや青葉まつりの山鉾などを常設展示するなど、観光交流拠点としての機能も備える施設となるよう整備中

⑪次世代放射光施設 「ナノテラス」 ～光イノベーション都市を目指して～



(写真提供：(一財)光科学イノベーションセンター)

- ・令和6年度供用開始予定
- ・産業利用に大きく道を開き、情報通信や先端材料に加え、医療や環境エネルギー、食品などの分野でも活用が期待される
- ・地域経済への波及効果を高めるために、本市において先行施設等でトライアルユースを実施。地域企業に対する普及啓発に取り組んでいる
- ・関係機関と連携し、施設周辺での「リサーチコンプレックス」の形成を目指し、施設利活用が見込まれる企業などに対し、活用方法や本市の立地環境をPRするなど、誘致活動を行っている

⑨全国都市緑化仙台フェア 開催

R5.4.26～6.18



青葉山公園追廻地区イメージ

西公園南側地区イメージ

- ・昭和58年より毎年開催されている国内最大級の花と緑の祭典。本市では平成元年以来の開催
- ・青葉山公園追廻地区、西公園南側地区、広瀬川地区（公園2地区の周辺）をメイン会場とするほか、まちなかエリア会場、東部エリア会場等を設定。100万人の入場者を目標とする
- ・会場設計をはじめ、観光客誘致に向けた施策やイベントの検討など、開催に向けて準備を進めている

(出典：第40回全国都市緑化仙台フェア基本計画)

⑫音楽ホール・中心部 震災メモリアル拠点 複合施設整備



(写真提供：仙台国際音楽コンクール)

- ・文化芸術の創造と発信の新たな拠点となる音楽ホールと、防災環境都市・仙台の「災害文化」の創造を担う中心部震災メモリアル拠点の複合施設を、青葉山交流広場へ整備予定
- ・令和4年度、複合施設の整備基本構想の策定に着手
- ・基本構想策定後、令和5年度中に基本計画の策定に着手予定
- ・施設の整備により、周辺施設との連携のもと、新たな文化観光交流ゾーンの形成や広域からの集客、都心部も含めたまちの活性化が期待される

⑩仙台市×東北大学 スーパーシティ構想



仙台市×東北大学 スーパーシティ構想
～キャンパスから未来都市が広がる～

- ・大胆な規制改革を行うとともに、先端的なサービスの提供と複数分野のデータ連携を前提とした、先端的スマートシティ化の取組
- ・東北大学・青葉山キャンパスをはじめとする特定エリアから拡大し、市内全域を対象に横展開を図る。令和4年度は、大学と協議会参画事業者との連携のもと、構想実現に向け、データ連携基盤を活用しながらモデル実証を行うこととしている

To be SMART City SENDAI (まちづくり政策局資料より)

⑬史跡仙台城跡整備



(出典：史跡仙台城跡整備基本計画)

- ・平成17年に策定した仙台城跡整備基本計画の内容を見直し、令和3～20年度までの計画を策定、史跡仙台城跡の整備と保存・活用を進めている。
- ・事業計画期間（令和3～12年度）においては、調査、修景、登城路整備を3本柱として整備事業を行う。修景により歴史的景観と青葉山の自然環境が調和した眺望“政宗ビュー”の実現を目指す。また、大手門復元に向けた基礎調査等を進める。
- ・史跡仙台城跡の魅力発信と郷土教育の促進も進める